

城南中学校区 小中連携共通取組事項

1 「学びの連携」について（3校共通の指導事項）

授業改善	学習規律	学習習慣
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で身に付けた力を中学校で伸ばせるよう、見通しを持った指導計画を作成する。 ・主体的・対話的で深い学びの視点から授業を実践し、学びの質を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期に中学生が出身校に訪問し、学校紹介に加えて、中学校の学習内容を説明する。 ・授業開始、終了時の礼やあいさつを徹底する。 ・黙想などを取り入れ、落ち着いて授業を始める。 ・時間を守る意識（チャイム席）を育てる。 ・聞く態度の育成に取り組み、適切に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市教委作成の家庭学習の手引きを活用する。 ・家庭学習の実施状況について3校で意見交換し、現状を把握する。 ・発達段階に応じた家庭学習のスタイルを3校で共通理解する。



城南中学校区の3校2400名余りの児童生徒（一律小中学校全児童生徒数の17%、2割弱）が共通して、学習面で取り組むことを、「**学びの3つの心得**」として示す。また、子供の立場（特に「授業改善」）に立った表現とする。「**先生・子供・保護者が一緒になって、学びに取り組んでいる城南中学校区**」

学習活動	学習規律	学習習慣
<ul style="list-style-type: none"> ●めあてを持って学習、最後に振り返り ★毎日の授業で、全ての子供が、見通しと振り返りを行っている城南中学校区 	<ul style="list-style-type: none"> ●先生や友達の話聞く 「聞く」から「聴く」、「聴く」から「訊く」へ ★毎日の授業で、全ての子供が、先生の話きちんと聞いている城南中学校区 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎日、家で学習 ★毎日、全ての子供が、家へ帰って勉強している城南中学校区

「学びの3つの心得」

- ①「めあてを持って学習、最後に振り返り」
 - ・甲府スタイル、山梨スタンダードのいずれでも、強調されている。
 - ・見通しと振り返りの活動は「主体的・対話的で深い学び」の視点からも重要で、めあてを示して目標を共有し、学習した内容を自己・相互評価しながら振り返ることを充実させたい。
- ②「先生や友達の話聞く」
 - ・市内の他の中学校区でも、共通継続指導事項として設定している。
 - ・授業に限らず、学校における指導(学習)は、まずは先生の話聞くことから始まる。
 - ・相手(先生にとっては同僚・児童生徒・保護者、児童生徒にとっては、友達・親・先生)の話や意見を聞くことで、自分の考えと比べたり、新しい考えを得て学びを深めたりすることができる。
- ③「毎日、家で学習」
 - ・甲府市では、家庭学習の時間に関して、昨年度と比較して数値が上がってきている。
 - ・従来は、小では「学年×10分」、中では「学年+1時間」と言われているが、全員に求めるのは難しい状況である。
 - ・そこで、発達段階に応じて保護者の点検や励ましを願いながら、引き続き、自分の課題に合わせ、計画的に学習する力を育てる観点から「家で一人で学習する」ということを大切にしたい。

2 「9か年継続指導事項（合言葉）」について

城南中学校区の3校で、9年間にわたって、継続して指導する事項を、合言葉の形で決める。

城南中学校区9か年継続指導事項

あいさつ きくこと 心のしたく

- ①**あいさつ**：あいさつは、人と人が出会う時、重要な役割を果たす。気持ちのよいあいさつは、人の心を開く。「おはようございます。」「ありがとうございました。」美しい言葉を生活に広げよう。
- ②**きくこと**：学校での指導は、子供が先生の話聞くことから始まる。また、相手の話をきちんと聞くことは、その人を大切にしていることの表れであり、そこから人間関係、信頼関係が築かれる。
- ③**心のしたく**：学校では、授業、行事など様々な活動があるが、大切なのは、心のしたくをすること。このことによって、心が成長できる。その他、黙想や清掃は、心を整える、心を磨く効果がある。